

第60回国民体育大会剣道競技結果

(成年女子)

第2試合場			
確認	本部記録	戦評	記録
	宮本	矢部	米澤

29

平成17年10月26日(水)		第14試合	1回戦 2回戦 準決勝戦 3位決定戦 決勝戦			勝者数	総本数	勝敗
主審	都道府県	順	先鋒	中堅	大将			
安倍尚志	岡山	氏名	坪田	稲垣	松田	2	4	
		試合	1 反相 2 則殺 3 回回	1 反相 2 則殺 3 回回	1 反相 2 則殺 3 1回回			
		経過	3 反相 2 則殺 1 回回	3 反相 2 則殺 1 回回	3 反相 2 則殺 1 1回回			
副審	都道府県	氏名	庄島	相川	牛木	0	0	×
河田清実	東京	氏名	庄島	相川	牛木			
時間		2分 46秒	1分 02秒	4分 00秒				

戦評 1・2回戦共、相手チームに一本も与えず無難に勝ち上がり波に乗る地元岡山と、1・2回戦共に強豪と戦い、いずれも大将戦となる接戦で制した東京との決勝進出を懸けた一戦。先鋒戦、岡山坪田対東京庄島、観衆固唾をのんで見守る中始まった。一本目坪田は持ち味を生かし伸びのある面を決め先手を取り、さらに鏝競り合いからの引き面を決め二本勝し幸先のよいスタートを切り王手をかけた。中堅戦、後のない東京相川は慎重に試合を運ぼうとするが、岡山稲垣は付け入る隙を見せることなく東京相川を崩し、手元の浮いたところを小手に決める。東京相川は、反撃に出て面を放つが岡山稲垣は見事な面すり上げ面を決め二本勝し勝利を決めた。大将戦、岡山松田対東京牛木は引き分けとなったが、実力者同士の一戦は見応えのあるものだった。快勝した岡山は、史上初の四冠の夢に大きく前進した。